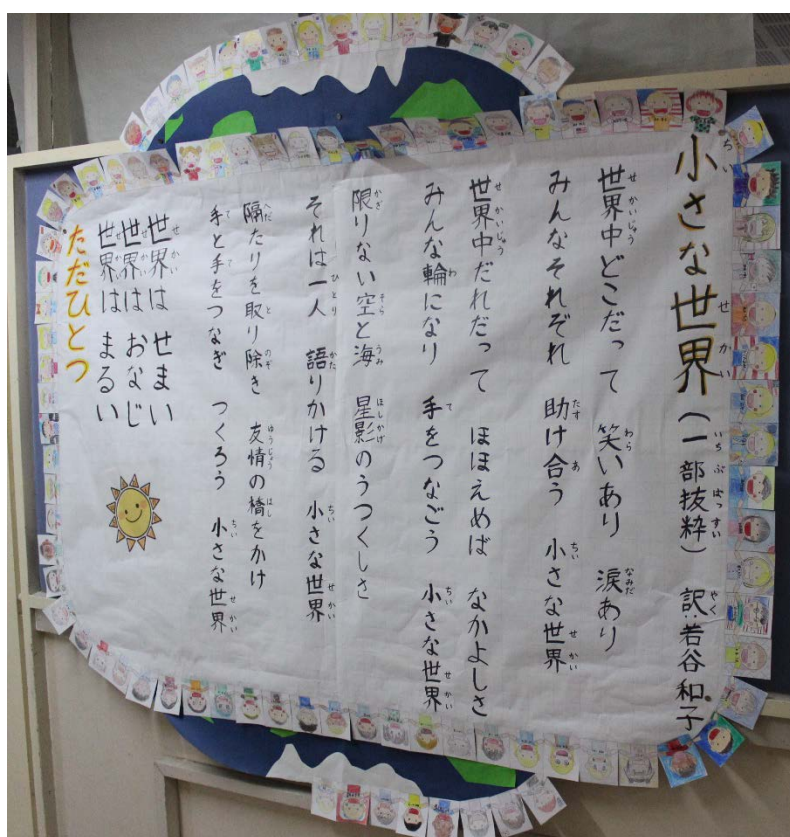


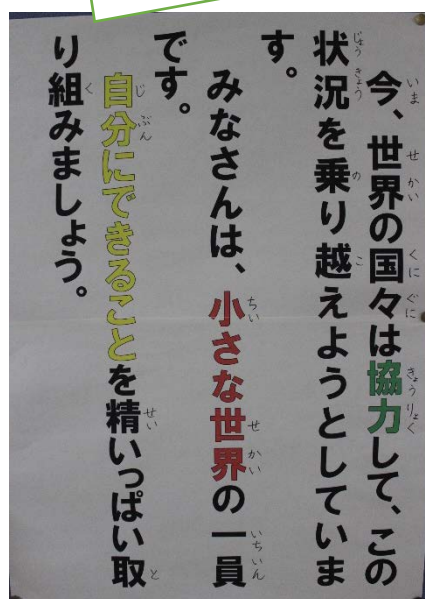
ほっと ハート

会議室前の掲示板に「今月の詩」コーナーが出来ました！

1階の会議室前の大きな掲示板に、読んだ人の心が温まるような詩を掲示することになりました。初回を飾るのは5年生！今月のテーマは国際理解ということで、「小さな世界」を選んで掲示物を作成してくれました。



詩の横には、5年生の担任の先生からのメッセージが。今のこのような状況の中、「小さな世界の中の一人」として、自分に出来ることを考え続けたいですね。



5年生は、6月の道徳の授業の中で、「国際協力」について考えました。「国際協力」とは、国境を越える地球全体の問題を世界各国が力を合わせて解決に向けて取り組むこと。新型コロナウイルスに対して、世界の国々が力を合わせて対処をしている今、改めて国際協力の大切さを子供たちにも伝えたいものです。

世界には196の国々があり、使う言葉も、目の色も、肌の色も、住んでいる環境も、文化も、様々な事が違う人々が地球という一つの星に住んでいます。日本人とかアメリカ人とかで区別するのではなく、一人の地球人として、共に生きる全ての人を大切にできる心を私たちは育てていかなければいけないのではないのでしょうか。

裏面に「小さな世界～It's a small world～」の詩を掲載します。6番までの歌詞を改めて読むと、考えさせられるものがあります。

保護者の皆様も、来校された際には会議室前の「今月の詩」コーナーをご覧ください。

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| <p>1. *世界はせまい 世界はおなじ
世界はまるい ただひとつ
世界中どこだって 笑いあり涙あり
みんなそれぞれ助け合う 小さな世界</p> | <p>4. (*くりかえし)
隔たりを取り除き 友情の橋をかけ
手と手をつなぎつくろう 小さな世界</p> |
| <p>2. (*くりかえし)
世界中誰だって 微笑みあえば仲良しさ
みんな輪になり手をつなごう 小さな世界</p> | <p>5. (*くりかえし)
世界中どこだって 笑いあり涙あり
みんなそれぞれ助け合う 小さな世界</p> |
| <p>3. (*くりかえし)
限りない空と海 星影のうつくしさ
それは一人語りかける 小さな世界</p> | <p>6. (*くりかえし)
世界中誰もが 自由を求める
その叫びがこだまする 小さな世界</p> |



☆今月の生活目標は「言葉づかいをていねいにしよう」です。お子様がご家庭で使っている言葉はやさしくてていねいな言葉ですか？今回のほっとコラムは、そんな言葉についての平岡先生のコラムをお届けします。

「ごめんなさい」

○年○組 担任 ○○○○

皆さんはどんな時に「ごめんなさい」と言いますか。

私は、今までに1度だけ「ごめんなさい」と言われて驚いたことがあります。それは、もう15年程前のことです。私は6年生の担任として他の3人の先生と修学旅行の下見に行きました。普段から車の運転はするのですが、乗せてもらうことが苦手な私は、その日すっかり車に酔ってしまいました。とはいえ、仕事での日光行き。我慢しながら、あちこち打ち合わせに巡っていました。そんな時、普段の私と違い妙に静かだったことに気付いた一人の同僚が、どうしたのかと聞いてきました。私が車に酔ってしまったことを伝えると、まず声を掛けられた言葉が先の「ごめんなさい」の一言です。全く悪くない同僚が発した言葉にびっくりしました。その言葉の理由を聞くと、側に居ながら全く気付かなかったからということでした。なんて素敵な言葉でしょう。「大丈夫？」という言葉の前の「ごめんなさい」という言葉だったので余計に心に響いたのかもしれない。同僚の先生の思いやりに「ありがとうございます」とすぐに伝え、心がとってもあたたかくなったことを今でも覚えています。

「ごめんなさい」という言葉は、学校生活や道徳の時間では悪いことをしたとき・人に迷惑をかけてしまったときに言う言葉として扱いがちです。しかし、本来言葉とは、人が生きていく中で、自分の思いを伝えるものです。相手に思いを寄せることができなかつたことに対しても謝れる。そんな「ごめんなさい」が自然に使える、広い優しさを持った人になりたいなと思っています。(なかなかそのようにはなれない自分がありますが・・・)